



京都府からの提案

ひとりぼっちにしない
安心安全な“希望の京都”を目指して

平成24年6月4日



京 都 府



日本の自殺率

24.9_(H22)

世界第5位／106カ国

※世界的に見ても
非常に高い自殺率

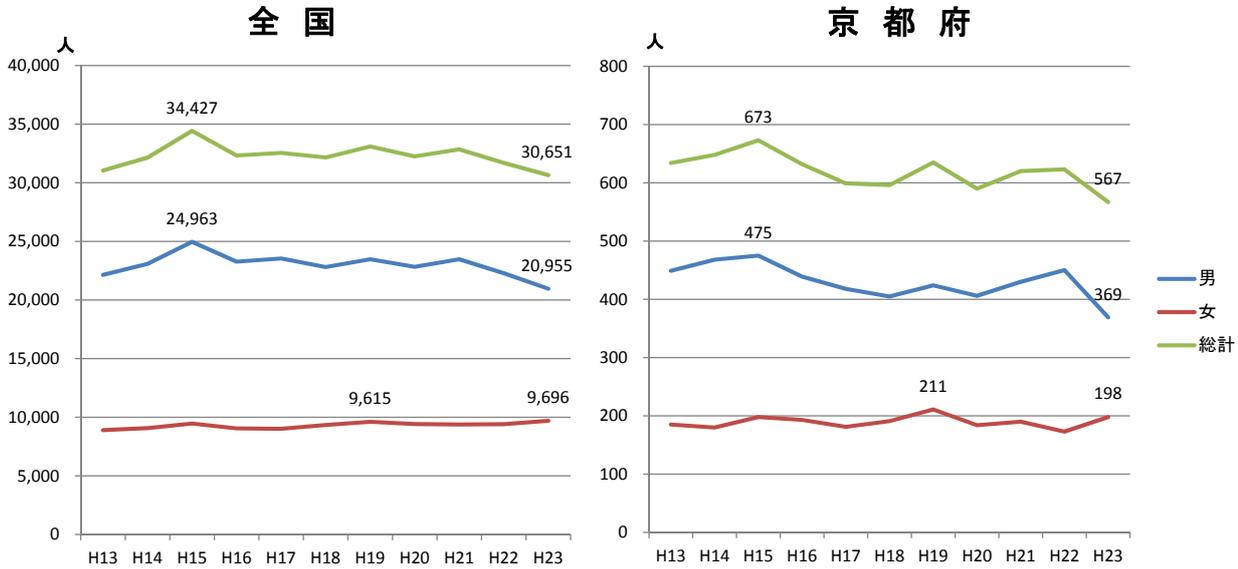
- ・アメリカ (11.1) の約2倍
- ・イギリス (9.2) の約2.5倍
- ・イタリア (5.2) の約5倍

順位	国名	自殺率
1位	リトアニア	31.5
2位	韓国	31.2
3位	カザフスタン	26.9
4位	ベラルーシ	25.3
5位	日本	24.9
⋮	⋮	⋮
41位	アメリカ	11.1
⋮	⋮	⋮
52位	イギリス	9.2
⋮	⋮	⋮
72位	イタリア	5.2

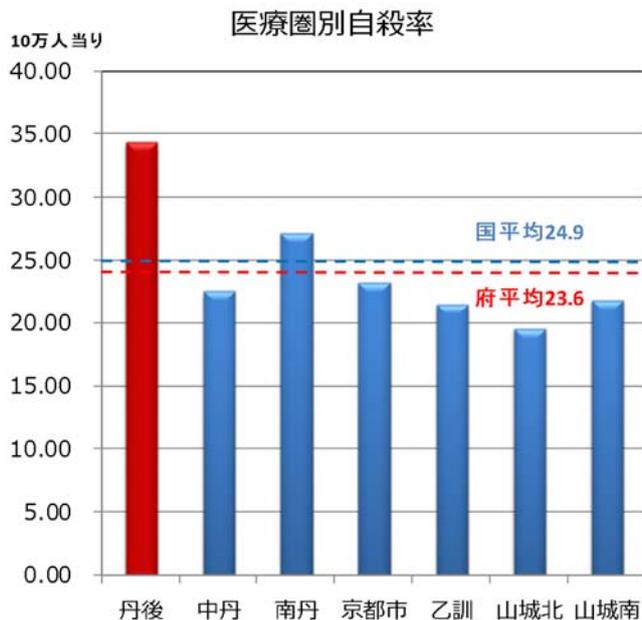
日本の現状～平成10年以降累計で45万人超が自殺

【全 国】平成10年から14年連続3万人超

【京都府】約600人前後で推移



京都における地域差



自殺の原因・動機別件数、構成比

原因・動機		件数	特定者に占める構成割合
原因・動機特定者	健康問題	276	63.0%
	経済・生活	161	36.8%
	家庭	80	18.3%
	勤務	42	9.6%
	その他	22	5.0%
	男女	16	3.7%
	学校	12	2.7%
小計		609	※重複あり
原因・動機不特定者		185	

H22警察統計

自殺の特徴

(1) 自殺に至る要因は複数

自殺に至る要因は失業、負債、生活苦、うつ病など平均して4つ程度の複合的要因から生じるとされる。

(2) 年齢構成を見てみると、

- ◆ 60歳以上の高齢者が全体の約40%
- ◆ 働き盛りの中高年男性(30歳～69歳の有職者)が約25%
- ◆ 29歳以下のうち学生・生徒等が約26%

(3) 地域によって差違がある。

自殺対策に取り組む方向性

1. 複合的要因に対する包括的支援
 2. 医療、介護、就労等 様々な分野との連携
 3. 地域に実情に応じた取組み
- } が求められる

→ 都道府県が中心となり市町村や関係団体と連携して取組みを推進することが重要

《取組み方策》 京都式自殺対策の推進

- ① 寄り添い型のワンストップ支援
- ② 「オール京都」での仕組みづくり(包括的支援)
- ③ 一人ひとりに応じたきめ細かな支援(ゲートキーパー養成)
- ④ 地域課題に対応したモデル事業の展開